

「アンティーク風ローテーブルの製作」

班員：奥山 遥斗 指導教員：渡部 貴久 佐藤 正樹

1. はじめに

このテーマを選んだのは、形に残るものを作りたかったのと、自分の部屋にこのようなテーブルが無いのでほしかったからです。2×6材とパイン集成材を使い、組みつぎという技法を用いて、機能性とデザイン性を兼ね備えたローテーブルを目指して課題研究に望みました。

2. 研究内容

このテーブルの特徴は、2段天板にしたことと、脚に本を収納することができるスペースを設けたことです。また、アンティーク風をイメージした塗装を施してあります。脚と天板受けは組みつぎという技法を用いて加工してあります。組みつぎは枡や家具などに使用されており、強度に優れています。

製作の中で苦労した点は二つあります。一つは組み継ぎの加工です。欠き取る部分をえんぴつで墨つけし、のこぎりで四本の線を入れ、鑿（のみ）と玄翁（げんのう）を使いひたすら欠き取りました。この作業は本当に大変だったので小まめに休憩しながら、削り過ぎないように注意してやっていました。二つ目は塗装です。アンティーク感を出すため、刷毛と布を使い、塗りと拭き取りを繰り返すことで、使い古した感じの色を出すようにしました。脚には丸棒を入れて、本や雑誌を収納するスペースを作り、機能性に優れたローテーブルに仕上げてあります。

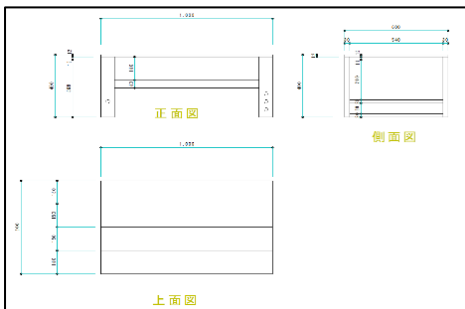


図1 CAD設計



図3 木材加工



図2 組みつぎ



図4 本棚



図5 塗装



図6 完成

3. おわりに

課題研究では色々なことを学びました。どうやったら良い作品が出来るかを自分で考え、一人で作る難しさも感じました。取り組んでいく中で、様々な問題が出てきましたが、その都度、試行錯誤を繰り返し、解決していき、無事に完成することができたので大きな達成感を味わうことができました。

反省点としては、図面をもう少し丁寧に設計し、軽量化もしつつ、製作に移れたらもっと良い作品ができたと思います。それに自分の雑さが大きく目立ってしまったのでそこも改善していきたいと思います。